

患者さんパンフレット

四国がんセンター
消化器内科



私たち医療スタッフは

- 1 入院や治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- 2 治療後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします



大腸ESDを受けられる方へ

さま

担当医

受け持ち看護師

2025年2月12日 作成
2026年2月18日 改訂

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約1週間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- 入院、治療について医療スタッフの説明が理解できる
- 治療の準備をすすめることができる

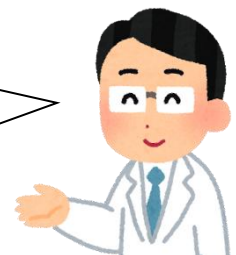
| <時間> | <予定> |
|-------|------------------------------------------------------|
| | 入院 |
| | 【入院後に以下のことを予定しています】 |
| | • 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明 (テレビの病院案内も参考にしてください) |
| 12:00 | 昼食 |
| | • 検温、血圧測定、身体測定 |
| | • 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り |
| | • 禁煙の確認 |
| | <お薬> |
| | • 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします |
| | • 薬剤師から治療後に内服する薬について説明があります |
| | • 21時に下剤を服用します |
| | <治療前の準備> |
| | • 同意書の確認をします |
| | • 治療当日の流れを説明します |
| | • シャワー浴をしましょう |
| 18:00 | 夕食 |
| | <食事> |
| | • 低残渣食(消化の良い食事)を提供します |
| | • 治療前日の21時以降は食べることはできません |
| 21:30 | 消灯 |
| | • 眠れない場合は安定剤を服用することができます |

治療当日の朝は2ℓの下剤を飲みます



医療スタッフの目標

- 安心して入院生活を送れるように支援します
- 治療への不安が軽減できるように支援します





今日の目標

- 予定どおりに治療を受けることができる
- 下血がない

<時間>

<予定>

6:00

起床、洗面、歯磨き
検温、血圧測定

お薬以外は、引き続き飲んだり食べたりできません

7:00

腸の中をきれいにするために下剤（2ℓ）を飲みます

下剤のほかに指示された内服薬がある方は少量の水で服用してください
【薬剤名： _____】

10:00

検温、血圧測定
右腕から点滴を始めます

検査は午後からです
腸の状態を整えて準備しましょう

14:00

検温、血圧測定

治療開始
5分前～

安全に治療を行うために、以下のものはすべて外してください
準備ができたなら、歩いて内視鏡室へ行きます

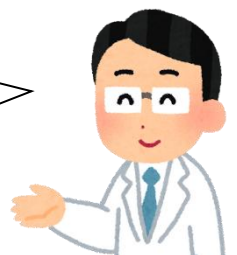
| | | | |
|--|-----------------------------------|--|------------------------------------|
| | <input type="checkbox"/> 入れ歯 | | <input type="checkbox"/> 腕時計 |
| | <input type="checkbox"/> コンタクトレンズ | | <input type="checkbox"/> イヤリング・ピアス |
| | <input type="checkbox"/> 磁気製品・湿布 | | <input type="checkbox"/> ネックレス |
| | <input type="checkbox"/> かつら・ウィッグ | | <input type="checkbox"/> 指輪 |
| | <input type="checkbox"/> お化粧 | | <input type="checkbox"/> ブレスレット |
| | <input type="checkbox"/> つけまつげ | | <input type="checkbox"/> ヘアピン |
| | <input type="checkbox"/> マニキュア | | <input type="checkbox"/> |

治療開始時刻
(:)

治療が始まります

医療スタッフの目標

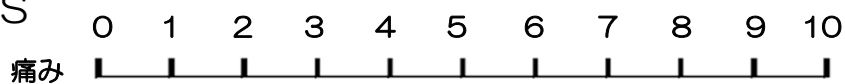
- 予定どおりに治療が受けられるように支援します



手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



0

痛みがない



1

少しだけ
痛い



2

もう少し
痛い



3

もっと
痛い



4

かなり
痛い



5

もっとも
痛い

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

大腸内視鏡検査を受けられる方へ

腸管洗浄剤 ニフレック®の飲み方

監修：工藤進英（昭和大学横浜市北部病院 副院長・消化器センター教授）



飲む前

- お通じ・体調を、医師または看護師にお伝えください。

飲み方

- コップ1杯を、10分から15分くらいかけ、
ゆっくり飲んでください。

通常、2リットルのニフレックを1時間あたり1リットルの速さで飲みます。

- 飲み始めから約1リットル服用後（1時間後）に、
多くの場合、はじめの排便があります。

歩くなど体を軽く動かすことで、排便がおこりやすくなります。

便秘気味で1リットル飲んでも排便がない方は、一旦飲むのを
中断し、医師または看護師にご相談ください。

おかしいな

服用中および服用後、「おかしいな」と思ったら、すぐに医師・看護師にお伝えください。

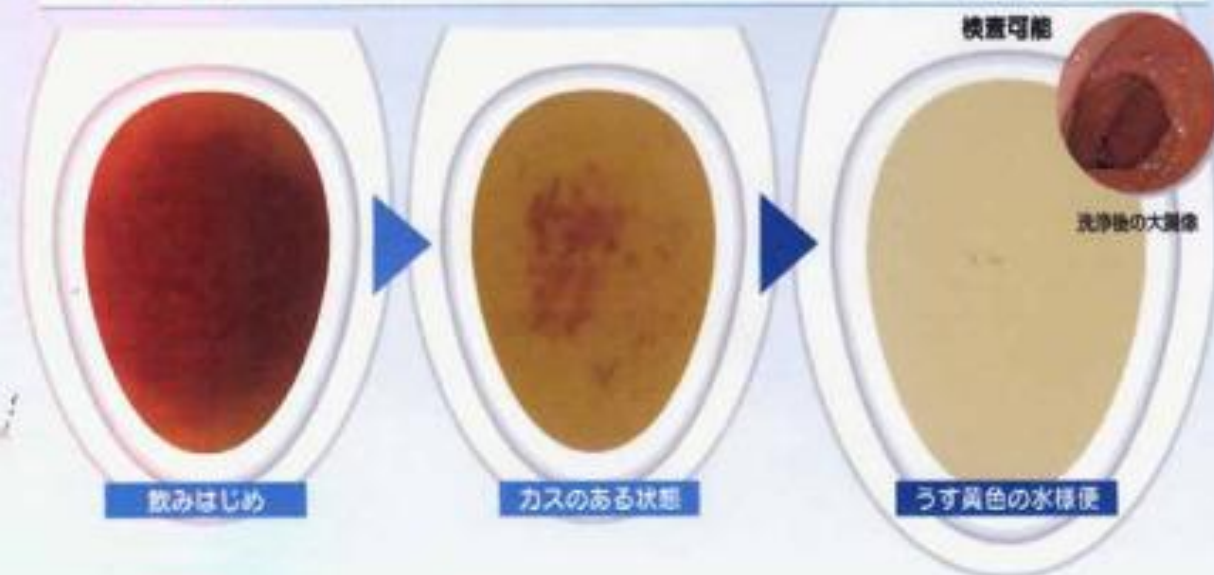


●「おかしいな」の症状

- 気分が悪い
- 吐き気がする
- 吐いた
- お腹が痛い
- 顔が青ざめる
- めまいがする
- 寒気がする
- じんましんが出る
- 息苦しい
- 顔がむくむ など

服用終了の目安

“カス”がなくなり“無色”か“うす黄色”の水様便が目安です。



大腸検査を受ける方に

大腸検査ができる便の状態を チェックしましょう

大腸検査を受けるには、検査前日か検査当日に大腸をきれいにするお薬を飲んでいただきます。正確な診断を得るためには、検査前の準備として便の状態をきちんとチェックすることが大切です。



● これでは大腸検査が実施できません。



● もう少しがんばりましょう。



色が濃く、にごっています。



粒が残っています。

● これで前処置は完了です。



粒がなく、黄色透明です。



ほとんど無色透明です。

便の状態はこのように変わっていきます。よく見ましょう。



今日の目標

- ・痛みがあれば、医療スタッフへ知らせることができる
- ・吐き気や腹痛がない
- ・下血がない

<時間>

<予定>

治療終了後

治療後、内視鏡室で医師から説明があります

車椅子で病室へ戻ります
検温、血圧測定

治療1時間後

検温、血圧測定

- ・治療後、初めてトイレに行くときは看護師と一緒にいきましょう
- ・痛みが強いつきや気分が悪いときは、すぐに看護師へお知らせください
- ・治療後、点滴を2本行います
- ・本日は、飲んだり食べたりできません
うがいは可能です

19:00

検温、血圧測定

起き上がるときは、
お腹に力が加わらないように
ベッドのリクライニングを
使用しましょう



21:30

検温、血圧測定
消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- 痛みがあれば、医療スタッフへ知らせることができる
- 吐き気や腹痛がない
- 下血がない

<時間>

<予定>

| | |
|-------|--------------------------------------------|
| 6:00 | 起床 検温、血圧測定 |
| 7:00 | 回診 血液検査 |
| 10:00 | 検温、血圧測定 点滴 体を拭いて着替えます 看護師がお手伝いします |
| 14:00 | 検温、血圧測定 |
| 19:00 | 検温、血圧測定 |
| 21:30 | 消灯 |

- 痛みが強いときや気分が悪いときは、すぐに看護師へお知らせください
- 10時から点滴を3本行います
- 午前中は、飲んだり食べたりできません
午後から、水・お茶を飲むことができます
治療のため休んでいた薬も医師の指示があれば再開になります
- 病棟内の歩行は可能ですが、なるべく安静にして過ごしましょう
- 排便時は、必ず便の色を確認しましょう
下血（便に血液が混じる）が出たときは流さずに、看護師にお知らせください
治療の影響で、1回目の便には血液が混じることが多くあります

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- 痛みがあれば、医療スタッフへ知らせることができる
- 吐き気や腹痛がない
- 下血がない

<時間>

<予定>

| | |
|-------|-----------------------------------------|
| 6:00 | 起床 検温、血圧測定 |
| 7:00 | 回診 |
| 10:00 | 点滴 検温、血圧測定 |
| 12:00 | 昼食（流動食） 体を拭きます または、シャワー浴ができます |
| 18:00 | 夕食（流動食） 点滴終了後 |
| 19:00 | 検温、血圧測定 |
| 21:30 | 消灯 |

- 午前中は、水・お茶を飲むことができます
昼から食事が始まります
※病院食以外は、食べないようにしましょう
- 10時から点滴を2本行います
- 病院内の歩行に制限はありません

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- 痛みがあれば、医療スタッフへ知らせることができる
- 吐き気や腹痛がない
- 下血がない

<時間>

<予定>

| | |
|-------|-------------------------|
| 6:00 | 起床 検温、血圧測定 |
| 7:30 | 朝食（全粥） |
| 10:00 | 点滴 検温、血圧測定 |
| 12:00 | 昼食（全粥） |
| 14:00 | 点滴終了（3日目） シャワー浴ができます |
| 18:00 | 夕食（全粥） |
| 19:00 | 検温、血圧測定 |
| 21:30 | 消灯 |

• 10時から点滴を1本行います
点滴は3日目で終了です

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- 吐き気や腹痛がない
- 下血がない
- 食生活の注意点を知っている
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食（全粥）

10:00

検温、血圧測定

退院日が決まったら
看護師から退院後の日常生活、
外来受診について説明をします

12:00

昼食（全粥）

シャワー浴ができます

18:00

夕食（全粥）

19:00

検温、血圧測定

21:30

消灯



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないように支援します



治療後6日目～退院前日 月 日～ 月 日



今日の目標

- 吐き気や腹痛がない
- 下血がない
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床

7:30 朝食（軟飯）

10:00 検温、血圧測定

12:00 昼食（軟飯）

シャワー浴ができます

18:00 夕食（軟飯）

21:30 消灯

退院日が決まったら
看護師から退院後の日常生活、
外来受診について説明をします

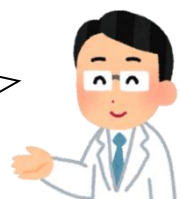


MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- 退院後の日常生活の注意点について理解できる
- 退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食（米飯）

次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

次回外来受診は

月 日（ ）時の予定です

外来で病理組織の結果を説明します

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

- 医療スタッフの目標
- 退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院後の日常生活について

ポリープや腫瘍を取った後の粘膜には、人工的な潰瘍ができています
自然に治っていきませんが、退院後間もない頃は、ごくまれに潰瘍から出血することがありますので、以下のことに気をつけて生活しましょう

●食事

- 1週間ほどは腸に負担がかからないように、消化のよいものを取りましょう

例) 牛乳、卵、鶏肉（ささみ）、白身魚、豆腐、いも類、
野菜（にんじん、かぼちゃ、ほうれん草）など

- 辛いもの、ニンニクなどの刺激物はさげましょう
コーヒーなどは飲んでも問題ありません
- 飲酒は、潰瘍の治りを遅くします
また、血行がよくなり出血しやすくなります
1か月間は、禁酒を続けましょう



●排便

- 排便時はいきまないようにしましょう
- 便秘になると排便時に腹圧がかかります
水分摂取を心がける、毎日同じ時間にトイレに座るなどして便秘の予防に努めましょう
- 退院後もしばらくは便を観察してください

●活動

- どんな運動も、少なからずお腹に力が入ります
1か月間は、激しい運動は避けましょう
- 散歩など軽めの運動から始めましょう
- 車の運転は、基本的には支障ありません
しかし、長時間の運転は避けるほうが望ましいでしょう

●入浴

- 長く湯に浸っていると、血行がよくなり出血しやすくなります
温泉などは、次回外来までは控えてください

【入浴時期の目安】

| | |
|---------|--------------------|
| 治療翌日 | シャワー浴 |
| 治療2日目～ | ぬるめのお湯で短時間の入浴 |
| 治療1週間後～ | 治療前と同じように入浴して構いません |



●喫煙

- 喫煙は外来受診時、医師に相談してください



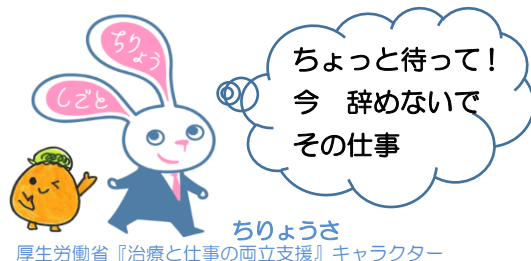
●仕事

- 力仕事でなければ、支障ありません
重いもの（約5kg以上）を持つ重労働の場合には、お腹に力が入ります
それがきっかけで潰瘍から出血することも、大変まれですがあります
力仕事は、次回外来まで避けたほうがよいでしょう

- これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●お薬

- 薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
- 他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



- 自分が見てわかるほどの下血があったとき
- 激しい腹痛、吐き気、嘔吐があるとき
- 38.0℃を超える発熱があるとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土、日、祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



大腸ESDを受けられる方へ